



新刊案内

| |
|---|
| 『すこしずつの親友』 森楚 こみち／著 講談社 T/モコ |
| 『妖怪コンビニ 店長はイケメンねこ』 令丈 ヒロ子／作 あすなろ書房 T/レヒ |
| 『13歳からの「差がつく読書術」心にささる1冊と出会える本』 大居 雄一／著 メイツユニバーサルコンテンツ T/019/オユ |
| 『13歳からの経営の教科書』 岩尾 俊兵／著 KDOKAWA T/335/イシ |
| 『農業者になるには』 大浦 佳代／著 ペリかん社 T/366/オカ |
| 『中高生のスポーツハローワーク』 学研プラス T/366/チユ |
| 『いま、この惑星で起きていること』 森 さやか／著 岩波書店 T/451/モサ |
| 『ウイルスって何だろう どこから来るのか?』 青野 由利／著 筑摩書房 T/491/アユ |
| 『自分自身に贈るギフト強みの見つけ方』 難波 寿和／著 学苑社 T/493/ナヒ |
| 『漢字が日本語になるまで』 円満字 二郎／著 筑摩書房 T/811/エシ |
| 『緋弾のアリア：31』 赤松 中学／著 KADOKAWA TB/ア千 |
| 『日向丘中学校カウンセラー室：[2]』 まはら 三桃／著 アリス館 T/マミ |



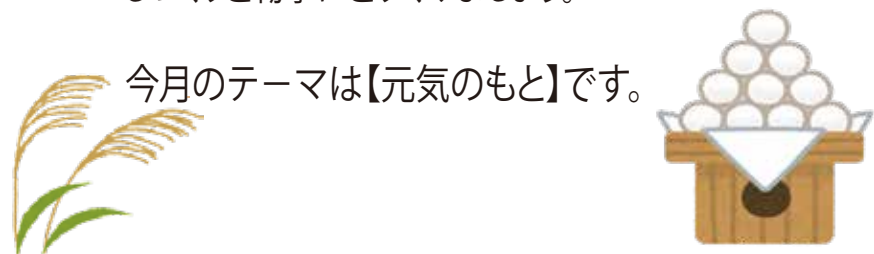
ティーンズのココロ通信 山口市立中央図書館 225号
 令和4年 9月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7
 TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144
 Eメール: info@lib-yama.jp



元気のもと

秋の気配。
 朝夕は、少し過ごしやすくなりましたね。
 じっくりと物事にとりくみましょう。

今月のテーマは【元気のもと】です。



●『ブッタとシッタカブッタ 心の運転マニュアル本』

小泉 吉宏/著 メディアファクトリー T/159/コヨ

恋に悩み、人間関係に苦しみ、人生に迷いながら生きているブタ、シッタカブッタの日常を4コマ漫画で描くこの本。「失望することが自信につながる」「なぜボクは疲れるんだろう」「不幸を消す」などのお題の答えは4コマ目にあり。4コマ読むだけで何となく視野が広がり、気持ちが楽になります。もう一人の主人公、ブタの姿をしたブッタの話も「うんうん」と納得。悩んでいる時、心が疲れた時に是非読んでみてください。 (H. S)

●『希望(ホープ)のいる町』

ジョン・パウアー/著 中田 香/訳 作品社 TF/ハシ

あたしはパパの名前も知らないし、ママも幼いあたしをおばさんに預けて出て行ってしまった。でもあたしは自分の名前をホープに変えて、人生の荒波に立ちむかう。自分の境遇を嘆くことなく、ウェイトレスをしながら高校に通う少女・ホープ。名コックのおばさんと一緒に暮らす小さな町の町長選で正義感を燃やす。働くことや参政権のない若者の政治に対する姿勢、ひたむきなホープの成長を描く元気が出る一冊。 (S. O)

●『プリンセスお母さん』

並庭 マチコ/著 KADOKAWA 914/ナマ

豪華なホテルに泊まると「私の城へようこそ」ともてなし、醤油さしをしゃべらせ、推しのポール・マッカートニーをこよなく愛する母・並庭“カトリーヌ”ママ子。抱腹絶倒、だけど家族愛に満ち溢れた並庭家の日常を描いたコミックエッセイ。読んだら笑えること間違いなしの1冊。笑いは大きなエネルギー源です。元気を出したい時に、是非読んでみてください。続編として第2弾と第3弾もあり、こちらもおすすめです。 (A. H)

●『ぼく モグラ キツネ 馬』

チャーリー・マッケンジー/著 川村 元気/訳 飛鳥新社 726/マチ

知りたがりの男の子が食いしんぼうのモグラ、無口で疑い深いキツネ、大きくて穏やかな馬と旅をする。旅の途中の彼らの会話。男の子：「いちばんの時間のむだってなんだとおもう？」モグラ：「じぶんをだれかとくらべることだね」男の子：「いままでにあなたがいったなかで、いちばんゆうかんなことばは？」馬：「たすけて」彼らの会話の中に自分の心に響く言葉がきくと見つかる。飾らないスケッチ風の絵がびったりの心にしみる本です。 (H. S)

●『人類にとって「推し」とは何なのか、イケメン俳優オタクの僕が本気出して考えてみた』

横川 良明/著 サンマーク出版 772/ヨヨ

一目見るだけで元気になれる！何もないけど毎日が楽しい！アイドル、アーティスト、俳優、芸人、スポーツ選手、アニメキャラ……どんな推しも等しく尊い誰かの元気のもと。「推し」と出会ったことで人生が劇的に変化したイケメン俳優オタクが、「推し」のいる生活の喜びやちょっとした暗部を語る。「オタクあるある」から「なぜそうしてしまうのか」の考察まで、その笑いも涙もすべて書いた一冊。 (S. O)

●『スヌーピーこんな生き方探してみよう』

ほしの ゆうこ/著 チャールズ M. シュルツ//コミック 谷川 俊太郎/訳

朝日新聞社 T159/ホユ

身近なひとこそ尊敬したい、幸せに偏差値はない、好きだからくじけない…。「ピーナッツ」の仲間たちが与えてくれる小さな勇気、快適に生きるための39のヒントを紹介。『朝日新聞』日曜版連載をまとめる。39のヒントには、友情、希望、幸せなどの身近なものだけではなく、ベーターベン、ドーナッツ、サマーキャンプなど、「ピーナッツ」ならではの面白いテーマが盛りだくさん。スヌーピーと仲間たちの絵にも癒されます。 (A. H)